

がんゲノム外来 Q&A

Q1. 家族のみで受診できますか？

A. 初回受診時は、患者さんご本人の受診が必須です。ご家族の同席は可能です。

Q2. がんゲノム外来はセカンドオピニオンとして利用できますか？

A. がんゲノム外来は、セカンドオピニオン外来ではありません。がんゲノム医療の実施可否や検査結果に基づく治療方針を、紹介元の主治医と連携して検討する外来です。

Q3. オンライン診療は可能ですか？

A. オンライン診療には対応していません。初回説明および結果説明は、原則として対面で行います。

Q4. 受診は何回必要ですか？

A. 原則として、初回説明時と結果説明時の2回の受診が必要です。

Q5. 検査には何を使いますか？

A. がん組織または血液を用います。過去の手術や生検で採取したがん組織を使用できる場合がありますが、新たな検体採取が必要となることもあります。

Q6. 検査結果が出るまでどのくらいかかりますか？

A. 初回受診から結果説明まで、5～7週間程度かかります。検体の準備状況や検査の種類により、さらに日数を要する場合があります。

Q7. 検査費用はどのくらいかかりますか？

A. 検査の種類や保険負担割合により異なりますが、3割負担の場合は合計で約17万円程度になります。高額療養費制度の対象となる場合があります。また、小児患者さんで小児慢性特定疾病医療費助成制度の対象となる場合には、所得に応じた月額自己負担上限額の範囲内の負担となります。

Q8. 年齢制限はありますか？

A. 年齢のみで対象外となることはありません。ただし、病状、検体の有無、標準治療の状況、結果判明後に治療選択へつながる可能性などを踏まえて判断します。

Q9. 検査結果に基づいて治療につながる可能性はどのくらいありますか？

A. 検査結果に基づいて新たな治療につながる方は、全体の5～20%程度です。遺

伝子異常が見つかったとしても、保険適用の治療薬や参加可能な治験がない場合もあります。

Q10. 検査後の治療はどこで行いますか？

A. 結果に基づく治療方針は紹介元の主治医と共有します。治療は原則として紹介元医療機関で行いますが、必要に応じて当院での診療についても相談します。

Q11. 検査結果は本人以外も聞けますか？

A. 結果説明はご本人への説明を基本とします。ご家族の同席が望ましく、結果によってはご家族にも関係する可能性がある情報が含まれることがあります。

Q12. 検査の結果、家族にも関係することがありますか？

A. 一部の方では、生まれつきの体質に関わる遺伝子変化が疑われることがあります。必要に応じて遺伝カウンセリングをご案内します。

Q13. 他院で受けた遺伝子検査結果を相談できますか？

A. 当外来では、既に実施された検査内容を確認し、追加検査の必要性を含めて検討します。ただし、検査結果に基づく治療方針のみを相談されたい場合は、がんゲノム外来ではなく腫瘍内科セカンドオピニオンとしての対応となる場合があります。

Q14. 紹介時に必要なものは何ですか？

A. がんゲノム外来の受診には、紹介元の主治医から診療情報提供書や病理結果、画像データなどをご提供いただく必要があります。既にがん遺伝子検査を受けている場合は、その結果もあわせてご共有ください。

Q15. 固形がんのがんゲノム検査と造血器腫瘍の遺伝子検査は何が違いますか？

A. 固形がんのがんゲノム検査では、主に治療薬や治験の候補を検討します。造血器腫瘍の遺伝子検査では、病気の診断、分類、予後評価、治療選択などを目的として検査を行います。対象疾患や目的に応じて適切な検査を選択します。